

 取組概要

- 「防災に女性の参加と目線を取り入れる検討会」の実施結果を踏まえ、災害時に職員の子どもの一時預かり場所の設置を検討
- 訓練を実施して改善点を見つけることで、実効性のある制度に向けて更に検討を重ねている

取組のきっかけ 『災害時に女性が参画しやすい環境をつくりたい！』

当時、平成28年熊本地震の被災地に派遣された職員が、被災地で多くの女性職員が発災直後に託児所等がなく、育児・介護などを理由に参集できず、その後、長期間労働ができないことを苦に退職した、という実態を目の当たりにした。

豊橋市で災害が発生した場合にも、職員が不足するかもしれない……



災害対応に女性も参画しやすい環境づくりを検討するため、
「防災に女性の参加と目線を取り入れる検討会」を発足。

災害時に、女性職員もすぐに職場に来られ、安心して働ける環境を目指そう！



1 被災地へ派遣された職員の経験から、女性の視点での検討会を立ち上げ！

防災に女性の参加と目線を取り入れる検討会

1 • 検討会を立ち上げる前に、防災危機管理課から、被災地に**派遣された職員**に対して、**男女問わず聞き取り**を行った

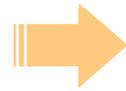
これをやったらうまくいった！



2 • 委員の人選は、**防災危機管理課と人事課が協議し**、各課に検討会の趣旨を伝え、**最適な職員の推薦を依頼**した

こんないいことがあった！

• どの課の職員が入るとよい事例が出てくるかなどかを考えて委員を選び、**外国人や子ども、健康に関わる部署の女性職員**が加わった



3 • 1年目は女性職員のみで検討していたが、2年目以降は、女性防火クラブや地域包括支援センターなどの**地域の女性や男性職員も**委員に加わった

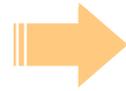
こんないいことがあった！



4 • **2年ごとにテーマを変えて、4年間にわたって**検討会を行った

こんないいことがあった！

• **災害時にすぐに参集し、安心して働ける環境をつくる**ため、1年目には緊急参集支援の方向性について検討した



実際に被災地に派遣された職員の経験や思いを踏まえて検討会が発足された！

被災地での経験を活かして活動！



被災地でのボランティア経験がある職員や、日ごろから防災への関心の高い職員などが集まった！



メンバーを入れ替えながら、毎年異なる視点から議論できた！

要望のあった後、具体的な検討につながっています！

災害対応の際に利用できる**託児所の設置の要望**や、レスパイト支援、要配慮者の非常持ち出し品の検討などにつながった！



2 平常時の資源を活用し、災害対応にあたる職員用の託児所を設置！

子ども一時預かり場所の設置

1. 災害時に職員が安心して災害対応に取り組めるようにするため、検討会から**子どもの一時預かり場所の運用を検討するよう要望した**

こんな
いいことが
あった！



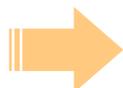
2. **本庁舎内の職員を対象**にして、**庁舎内に託児所**を設ける運用とした

これをやったら
うまくいった！



3. 育児休業中の職員が来庁した際に利用できるように、庁舎内の職員向け休憩スペースに畳やマットを敷いて**託児スペース**をつかった
 - **災害時にもこのスペースを活用**することにした

さらに
いいこと！



4. 市役所内のイベントの際に託児を依頼していた**外郭団体(NPO法人など)**と協定を結び、**毎年防災訓練の際に、一時預かり場所の開設訓練も実施**している
 - 訓練には、市長や管理職等の**トップたちも参加**した

さらに
いいこと！



予算や人員などの具体的な検討につながった！

畳やマットを敷いて託児スペースに！



本庁舎の職員向け設備として人員確保などを行い、**まずはやってみる**ことができた！

日ごろから使われている託児スペースを災害時にも有効活用することで費用を抑えられた！

長時間の預かりや庁内完結型の制度など、引き続き検討！



訓練後の振り返りを通じて、「(外郭団体の方が発災直後にかかけられない可能性も踏まえ)市の保育士の職員等も託児に加わっていただくべきではないか」などといった、今後の取組に向けた課題を明らかにできた！

